

穴水町の熱い週末が終わりました。

7月19日、第63回長谷部まつりが盛大に開催されました。実行委員会の皆様、ご協力いただいた全ての方々、そして祭りを楽しんでくださった町内外の皆様へ、心より感謝申し上げます。

今年は2年ぶりに武者行列と穴水音頭流しが復活し、祭りに彩りを添えました。武者行列では、東京からお招きした林家一門のご協力により、林家たま平さんが信連公役を、林家まる子さんが奥方役を務めてくださいました。全国から駆けつけてくださった自治体応援職員の方々、そしてボランティアの皆様が武者役として参加し、行列を大いに盛り上げてくださいました。私自身も、林家三平師匠と共に武者行列の先導役を務めさせていただきました。三平師匠には今後、復興応援特命大使として穴水町の復興促進と観光振興にご協力いただく予定です。

復旧復興がなかなか進まないと感じている方も多い中、沿道からの温かい声援と笑顔は、私たちにとって何よりの励みとなりました。「やってよかった」と、逆に元気をもらった瞬間です。

さらに、今回の祭りでは昨年に引き続きテレビ歌番組の生中継が行われ、3組の豪華アーティストが参加し、穴水町の魅力を全国へ発信してくださいました。日中の商店街や駅の賑わいには圧倒され、夜のランタンが織りなす幻想的な光景には深く感動しました。プロフェッショナルの方々の方に改めて感銘を受け、この祭りをきっかけに、一人でも多くの方が能登、そして穴水町に心を寄せてくださることを願っています。

祭りの翌日は、参議院議員通常選挙の投票日でした。選挙事務は一切のミスが許されないため、休む間もなく業務に当たった職員は大変だったことでしょう。混迷を深める社会情勢下での国民の審判の結果に、日本の未来はどうなるのだろうかと深く考えさせられました。

現在、町内では地区の祭礼や様々な行事が少しずつ復活してきています。地域の歴史、文化、伝統を次世代へと継承していくこと、そして地域が活力に満ち、輝きを放てるよう、これからも精一杯取り組んでまいります。日本の都市の繁栄は、地方の、とりわけ里山里海の集落の活力と輝きがあつてこそ成り立つものだと信じています。この大切な視点を、政治が忘れることのないよう願っています。